



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社  
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	28,178	3.6	3,460	0.9	3,703	5.1	2,594	△8.7
2024年3月期第3四半期	27,191	2.8	3,428	62.6	3,522	60.4	2,841	54.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,199百万円(△12.8%) 2024年3月期第3四半期 3,669百万円(41.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	96.60	96.46
2024年3月期第3四半期	105.91	105.72

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	47,973	38,034	79.2	1,411.52
2024年3月期	44,574	35,884	80.4	1,334.77

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 37,986百万円 2024年3月期 35,836百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2025年3月期	—	21.00	—		
2025年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,950	3.3	5,380	10.2	5,450	9.3	3,750	2.0	139.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	28,392,000株	2024年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,480,425株	2024年3月期	1,543,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	26,864,288株	2024年3月期3Q	26,829,838株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(収益認識関係) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に賃上げを実施した企業が多く、雇用や所得環境が改善し景気は緩やかな回復が見られ、日銀は政策金利を引き上げました。一方、為替は各国の金融緩和により一時円高方向に転じたものの、これまでの円安基調を背景とした物価の上昇やエネルギー価格の高騰が続き、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済におきましては、米国では好調な企業業績と物価上昇率の鈍化により、経済は堅調に推移しておりますが、政権交代による政策転換が国際情勢に与える影響が見通し困難な状況にあります。欧州ではインフレ率の低下による消費回復の傾向が見られるものの、ウクライナ情勢や中東地域紛争の長期化の地政学リスクが高く、引き続き低成長が続くと見られます。また、中国でも不動産市場の低迷や海外景気減速による需要不足から、景気回復ペースは鈍化すると見られます。

当社グループが主要市場とする食品業界は、経済活動の正常化による消費回復が見られるものの、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続いたことで消費者の節約志向が高まり、人材確保の難しさもあり、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。そのような中でも、これまで控えられていた大手・中堅ベーカリーによる既存設備の更新や新規の設備投資が復活し、観光業界では、円安によるインバウンド観光客の増加により需要回復の動きが見られ、それに合わせて設備投資案件も回復してきました。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。中期経営計画（2023年度～2027年度）の2年目の今年度は、「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の基本戦略の推進策として、新機種開発を強化し、為替変動や地政学リスク等の外的要因に大きく左右されない安定経営基盤を構築し、ガバナンス強化や人材育成に取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は28,178百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は3,460百万円（前年同四半期比0.9%増）、経常利益は3,703百万円（前年同四半期比5.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,594百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、外部顧客への売上高の数値を、セグメント利益は、セグメント間取引消去前かつ販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を、それぞれ記載しております。

#### 食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、修理その他、仕入商品の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は8,073百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は3,388百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、製パンライン等、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比6.1%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが143円29銭から152円57銭と6.5%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,723百万円（前年同四半期比0.0%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は売上構成の変動などにより、137百万円（前年同四半期比25.4%減）となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比0.6%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが155円29銭から164円83銭と6.1%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は3,536百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は大型展示会の開催がなく、広告宣伝費が減少したことなどにより、306百万円（前年同四半期比34.4%増）となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上が減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,489百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は351百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

#### 食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジペーカーリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比2.7%増加となりました。

主な要因は、新規顧客の獲得や、既存顧客向けの売上の増加などがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが143円29銭から152円57銭と6.5%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は11,957百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は1,368百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

#### 食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は397百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

主な要因は、販路拡大に向けて積極的に業者向け講習会を開催したことや、製品の売価改定を行ったことなどがあげられます。

セグメント利益（営業利益）は製造工程の見直しによる原価低減などにより、74百万円（前年同四半期比142.8%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,543百万円増加し、27,947百万円となりました。これは、現金及び預金が1,338百万円増加、商品及び製品が660百万円増加、仕掛品が617百万円増加、受取手形及び売掛金が75百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて855百万円増加し、20,025百万円となりました。これは、有形固定資産が752百万円増加、投資その他の資産が219百万円増加、無形固定資産が116百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,398百万円増加し、47,973百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,335百万円増加し、8,080百万円となりました。これは、短期借入金が220百万円増加、前受金が1,574百万円増加、未払法人税等が106百万円減少、賞与引当金が376百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて86百万円減少し、1,859百万円となりました。これは、長期借入金が74百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,249百万円増加し、9,939百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,149百万円増加し、38,034百万円となりました。これは、資本剰余金が74百万円増加、利益剰余金が1,440百万円増加、その他有価証券評価差額金が140百万円増加、為替換算調整勘定が499百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。2024年5月14日発表の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,591,862	14,930,185
受取手形及び売掛金	3,236,132	3,160,215
商品及び製品	5,997,307	6,657,713
仕掛品	1,341,552	1,959,415
原材料及び貯蔵品	481,909	493,246
その他	783,038	787,886
貸倒引当金	△27,470	△40,852
流動資産合計	25,404,332	27,947,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,925,188	17,570,337
減価償却累計額	△9,449,270	△9,923,189
建物及び構築物（純額）	7,475,917	7,647,148
機械装置及び運搬具	11,117,581	11,928,808
減価償却累計額	△8,686,306	△9,264,544
機械装置及び運搬具（純額）	2,431,275	2,664,263
工具、器具及び備品	2,127,046	2,080,801
減価償却累計額	△1,924,257	△1,821,404
工具、器具及び備品（純額）	202,789	259,397
土地	4,088,572	4,150,390
リース資産	27,262	28,392
減価償却累計額	△4,870	△8,221
リース資産（純額）	22,391	20,170
建設仮勘定	178,490	410,623
有形固定資産合計	14,399,436	15,151,993
無形固定資産	1,157,935	1,041,169
投資その他の資産		
投資有価証券	1,583,569	1,793,930
退職給付に係る資産	1,813,279	1,820,414
その他	223,060	219,682
貸倒引当金	△6,794	△1,233
投資その他の資産合計	3,613,115	3,832,794
固定資産合計	19,170,487	20,025,957
資産合計	44,574,820	47,973,769

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,285,250	1,085,043
短期借入金	704,722	924,722
リース債務	6,275	6,299
未払金	727,957	741,767
未払費用	615,716	671,906
未払法人税等	524,664	418,593
前受金	1,981,695	3,556,687
賞与引当金	765,722	388,738
役員賞与引当金	29,300	21,970
その他	102,955	264,415
流動負債合計	6,744,261	8,080,144
固定負債		
長期借入金	903,481	828,605
リース債務	18,653	15,974
繰延税金負債	640,412	631,509
再評価に係る繰延税金負債	347,009	347,009
資産除去債務	36,321	36,321
その他	213	107
固定負債合計	1,946,093	1,859,528
負債合計	8,690,355	9,939,672
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,105,902	7,180,172
利益剰余金	20,409,779	21,850,069
自己株式	△750,865	△720,562
株主資本合計	34,116,565	35,661,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	801,635	941,922
土地再評価差額金	△1,692,816	△1,692,816
為替換算調整勘定	2,248,344	2,748,149
退職給付に係る調整累計額	362,825	327,500
その他の包括利益累計額合計	1,719,987	2,324,755
新株予約権	47,911	47,911
純資産合計	35,884,465	38,034,096
負債純資産合計	44,574,820	47,973,769



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,191,365	28,178,664
売上原価	14,878,229	15,357,744
売上総利益	12,313,135	12,820,919
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	286,902	223,822
荷造運搬費	1,237,319	1,413,397
貸倒引当金繰入額	9,456	5,918
販売手数料	679,749	728,444
給料及び手当	2,757,537	2,866,548
賞与引当金繰入額	212,652	215,426
役員賞与引当金繰入額	21,970	21,970
退職給付費用	114,139	103,658
法定福利費	482,318	508,533
旅費及び交通費	378,509	397,221
減価償却費	420,916	463,232
研究開発費	544,447	553,730
その他	1,738,720	1,858,546
販売費及び一般管理費合計	8,884,641	9,360,451
営業利益	3,428,494	3,460,468
営業外収益		
受取利息	13,990	46,551
受取配当金	26,065	36,232
物品売却益	12,000	14,520
為替差益	13,098	134,899
保険解約返戻金	5,171	703
電力販売収益	16,851	17,619
その他	39,398	28,368
営業外収益合計	126,576	278,895
営業外費用		
支払利息	8,536	8,715
電力販売費用	6,192	11,822
固定資産除却損	15,606	7,892
その他	2,071	7,026
営業外費用合計	32,406	35,456
経常利益	3,522,663	3,703,907
税金等調整前四半期純利益	3,522,663	3,703,907
法人税、住民税及び事業税	796,339	1,172,023
法人税等調整額	△115,240	△63,114
法人税等合計	681,099	1,108,908
四半期純利益	2,841,564	2,594,999
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,841,564	2,594,999

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,841,564	2,594,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195,799	140,287
為替換算調整勘定	614,719	499,805
退職給付に係る調整額	17,581	△35,325
その他の包括利益合計	828,100	604,767
四半期包括利益	3,669,665	3,199,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,669,665	3,199,766

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,246,600	2,723,727	3,352,461	1,568,487	15,891,276
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,389,849	48,749	—	—	4,438,598
計	12,636,450	2,772,477	3,352,461	1,568,487	20,329,875
セグメント利益	3,261,319	184,710	227,897	378,457	4,052,384

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	10,931,679	368,408	11,300,088	27,191,365
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24	24	4,438,623
計	10,931,679	368,433	11,300,113	31,629,988
セグメント利益	1,305,350	30,887	1,336,237	5,388,622

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、サウジアラビア、トルコ、イギリス
- (3) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、シンガポール

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,388,622
セグメント間取引消去	△364,064
本社一般管理費(注)	△1,596,063
四半期連結損益計算書の営業利益	3,428,494

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,073,878	2,723,483	3,536,516	1,489,379	15,823,257
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,370,821	64,632	79	—	5,435,534
計	13,444,700	2,788,115	3,536,596	1,489,379	21,258,791
セグメント利益	3,388,078	137,702	306,250	351,159	4,183,190

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	11,957,769	397,637	12,355,406	28,178,664
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	5,435,560
計	11,957,769	397,663	12,355,433	33,614,224
セグメント利益	1,368,060	74,981	1,443,041	5,626,232

(注) 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、イスラエル、イギリス、セルビア、オーストリア

(3) アジア……………台湾、中国、ベトナム、韓国、タイ

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,626,232
セグメント間取引消去	△525,619
本社一般管理費(注)	△1,640,144
四半期連結損益計算書の営業利益	3,460,468

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	4,980,695	—	4,980,695
製パンライン等	6,163,635	—	6,163,635
修理その他	4,351,125	—	4,351,125
仕入商品	339,645	—	339,645
その他	56,176	—	56,176
食品等	—	11,300,088	11,300,088
顧客との契約から生じる収益	15,891,276	11,300,088	27,191,365
外部顧客への売上高	15,891,276	11,300,088	27,191,365

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	4,750,302	—	4,750,302
製パンライン等	5,584,149	—	5,584,149
修理その他	4,988,268	—	4,988,268
仕入商品	425,071	—	425,071
その他	75,467	—	75,467
食品等	—	12,355,406	12,355,406
顧客との契約から生じる収益	15,823,257	12,355,406	28,178,664
外部顧客への売上高	15,823,257	12,355,406	28,178,664

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月11日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間までに譲渡制限付株式報酬として10,809株の自己株式の処分、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして52,689株の自己株式の処分を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる取得なども含め、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が74,269千円増加、自己株式が30,303千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が7,180,172千円、自己株式が720,562千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	925,140千円	1,105,733千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。